

# 大会経費V5(バージョン5)について

- ・令和2年4月16日 エグゼクティブプロジェクトレビュー  
大会延期に伴う今後の大会準備の枠組みに合意
- ・令和2年6月10日 IOC理事会  
大会延期に伴う大会の位置づけ、原則、ロードマップを報告
- ・令和2年9月25日 IOC調整委員会  
大会の簡素化に係る52項目の内容に合意
- ・令和2年10月7日 IOC理事会 (参考資料1)  
大会の簡素化に係る経費削減効果(300億円)を報告
- ・令和2年12月2日 大会における新型コロナウイルス感染症対策調整会議  
中間整理をとりまとめ
- ・令和2年12月4日 三者会談 (参考資料2)  
追加経費の負担について合意
- ・令和2年12月22日 大会経費V5公表

# 1 経費分担試算(V5)

	組織委員会	東京都	国	計
会場関係	2,310 億円 (600 億円)	5,470 億円 (300 億円)	1,500 億円 (300 億円)	9,280 億円 (1,200 億円)
恒久施設	—	2,260 億円	1,200 億円	3,460 億円
仮設等	1,280 億円	2,410 億円	} 300 億円	} 5,820 億円
エネルギー	250 億円	420 億円		
テクノロジ	780 億円	380 億円		
大会関係	4,900 億円 (300 億円)	1,050 億円 (150 億円)	150 億円 (150 億円)	6,100 億円 (600 億円)
輸送	480 億円	350 億円	} 150 億円	} 6,100 億円
セキュリティ	340 億円	550 億円		
オペレーション	1,680 億円	150 億円		
管理・広報	840 億円	0 億円		
マーケティング	1,360 億円	0 億円		
その他	200 億円	0 億円		
新型コロナウイルス感染症対策関連	—	400 億円	560 億円	960 億円
緊急対応費	—	100 億円	—	100 億円
計	7,210 億円 (900 億円)	7,020 億円 (450 億円)	2,210 億円 (450 億円)	16,440 億円 (1,800 億円)

(注1) 予期せず発生し得る事態等に対処する必要が生じた場合、関係者は役割分担に応じて対応する。

(注2) ( )は、うちパラリンピック経費分である。

## 2 経費分担試算(V4とV5との比較)

<>書の増減はV4との比較

	V4				V5			
	組織委員会	東京都	国	支出計	組織委員会	東京都	国	支出計
会場関係	1,870 億円 (400 億円)	4,960 億円 (200 億円)	1,400 億円 (200 億円)	8,230 億円 (800 億円)	2,310 億円 <+440> (600 億円) <+200>	5,470 億円 <+510> (300 億円) <+100>	1,500 億円 <+100> (300 億円) <+100>	9,280 億円 <+1,050> (1,200 億円) <+400>
恒久施設	—	2,260 億円	1,200 億円	3,460 億円	— <—>	2,260 億円 <—>	1,200 億円 <—>	3,460 億円 <—>
仮設等	1,010 億円	2,020 億円	} 200 億円	} 4,770 億円	1,280 億円 <+270>	2,410 億円 <+390>	} 300 億円 <+100>	} 5,820 億円 <+1,050>
エネルギー	160 億円	330 億円			250 億円 <+90>	420 億円 <+90>		
テクノロジー	700 億円	350 億円			780 億円 <+80>	380 億円 <+30>		
大会関係	4,060 億円 (200 億円)	910 億円 (100 億円)	100 億円 (100 億円)	5,070 億円 (400 億円)	4,900 億円 <+840> (300 億円) <+100>	1,050 億円 <+140> (150 億円) <+50>	150 億円 <+50> (150 億円) <+50>	6,100 億円 <+1,030> (600 億円) <+200>
輸送	410 億円	300 億円	} 100 億円	} 5,070 億円	480 億円 <+70>	350 億円 <+50>	} 150 億円 <+50>	} 6,100 億円 <+1,030>
セキュリティ	330 億円	520 億円			340 億円 <+10>	550 億円 <+30>		
オペレーション	1,240 億円	90 億円			1,680 億円 <+440>	150 億円 <+60>		
管理・広報	650 億円	0 億円			840 億円 <+190>	0 億円 <—>		
マーケティング	1,250 億円	0 億円			1,360 億円 <+110>	0 億円 <—>		
その他	180 億円	0 億円			200 億円 <+20>	0 億円 <—>		
新型コロナウイルス感染症対策関連	—	—	—	—	— <—>	400 億円 <+400>	560 億円 <+560>	960 億円 <+960>
調整費(組織委員会) / 緊急対応費(東京都)	100 億円	100 億円	—	200 億円	— <▲100>	100 億円 <—>	— <—>	100 億円 <▲100>
支出計	6,030 億円 (600 億円)	5,970 億円 (300 億円)	1,500 億円 (300 億円)	13,500 億円 (1,200 億円)	7,210 億円 <+1,180> (900 億円) <+300>	7,020 億円 <+1,050> (450 億円) <+150>	2,210 億円 <+710> (450 億円) <+150>	16,440 億円 <+2,940> (1,800 億円) <+600>
予備費	270 億円	—	—	270 億円	— <▲270>	— <—>	— <—>	— <▲270>
合計	6,300 億円 (600 億円)	5,970 億円 (300 億円)	1,500 億円 (300 億円)	13,770 億円 (1,200 億円)	7,210 億円 <+910> (900 億円) <+300>	7,020 億円 <+1,050> (450 億円) <+150>	2,210 億円 <+710> (450 億円) <+150>	16,440 億円 <+2,670> (1,800 億円) <+600>

(注1) 予期せずに発生し得る事態等に対処する必要が生じた場合、関係者は役割分担に応じて対応する。

(注2) ( )は、うちパラリンピック経費分である。

### 3 経費増減（V4とV5との比較）

（単位：億円）

区分	V4	V5	増減	主な内容
<b>会場関係</b>	8,230	9,280	+1,050	
恒久施設	3,460	3,460	—	—
仮設等	3,160	3,890	+730	・競技会場等における仮設オーバーレイのリース・レンタル、一時撤去・再設置 ・会場使用料等 ・大会ルックの見直し
エネルギー	520	720	+200	・競技会場等における仮設電源設備のレンタル、一時撤去・再設置 ・競技会場等の光熱費
テクノロジー	1,090	1,210	+120	・大会情報の配信、大会運営に関する各種システムの保守 ・通信インフラの維持管理
<b>大会関係</b>	5,070	6,100	+1,030	
輸送	720	850	+130	・大会関係者輸送用フリート（乗用車）の維持管理 ・車両デポ・ハブ等の維持管理 ・輸送支援スタッフ等
セキュリティ	880	920	+40	・来場者、関係者に対するスクリーニング機器等の保管 ・統合映像監視システムの保守
オペレーション	1,390	1,930	+540	・会場・競技運営 ・競技用備品の保管 ・選手村の維持管理 ・開閉会式 ・聖火リレーの簡素化
管理・広報	650	840	+190	・人件費 ・賃料
マーケティング	1,250	1,360	+110	・収入連動経費 ・チケット払い戻しに係るシステム開発等
その他	180	200	+20	
<b>新型コロナウイルス感染症対策関連</b>	—	960	+960	・アスリート等を対象とした検査体制等の整備 ・その他の感染防止のための対応
<b>調整費（組織委員会）/ 緊急対応費（東京都）</b>	200	100	▲ 100	
<b>支出計</b>	13,500	16,440	+2,940	
<b>予備費</b>	270	—	▲ 270	
<b>合計</b>	13,770	16,440	+2,670	

#### 4 経費増減（東京都負担分、V4とV5との比較）

（単位：億円）

区分	V4	V5	増減	主な内容
<b>会場関係</b>	4,960	5,470	+510	
恒久施設	2,260	2,260	—	—
仮設等	2,020	2,410	+390	・競技会場等における仮設オーバーレイのリース・レンタル、一時撤去・再設置 ・会場使用料等
エネルギー	330	420	+90	・競技会場等における仮設電源設備のレンタル、一時撤去・再設置
テクノロジー	350	380	+30	・大会情報の配信、大会運営に関する各種システムの保守 ・通信インフラの維持管理
<b>大会関係</b>	910	1,050	+140	
輸送	300	350	+50	・大会関係者輸送用フリート（乗用車）の維持管理 ・車両デポ・ハブ等の維持管理
セキュリティ	520	550	+30	・来場者、関係者に対するスクリーニング機器等の保管 ・統合映像監視システムの保守
オペレーション	90	150	+60	・会場・競技運営 ・競技用備品の保管 ・選手村の維持管理
管理・広報	0	0	—	
マーケティング	0	0	—	
その他	0	0	—	
<b>新型コロナウイルス感染症対策関連</b>	—	400	+400	・その他の感染防止のための対応
<b>緊急対応費</b>	100	100	—	
<b>支出計</b>	5,970	7,020	+1,050	

参考1 組織委員会及びその他の経費（V5、ハード・ソフト別）

	組織委員会	その他	計
ハード（会場整備）	1,530 億円	6,540 億円	<b>8,070 億円</b>
恒久施設	—	3,460 億円	3,460 億円
仮設等	1,280 億円	2,610 億円	3,890 億円
エネルギー	250 億円	470 億円	720 億円
ソフト（大会運営）	5,680 億円	1,630 億円	<b>7,310 億円</b>
輸送	480 億円	370 億円	850 億円
セキュリティ	340 億円	580 億円	920 億円
テクノロジー	780 億円	430 億円	1,210 億円
オペレーション	1,680 億円	250 億円	1,930 億円
管理・広報	840 億円	0 億円	840 億円
マーケティング	1,360 億円	0 億円	1,360 億円
その他	200 億円	0 億円	200 億円
新型コロナウイルス感染症対策関連	—	960 億円	<b>960 億円</b>
緊急対応費	—	100 億円	<b>100 億円</b>
計	7,210 億円	9,230 億円	<b>16,440 億円</b>

(注) 予期せず発生し得る事態等に対処する必要がある場合、関係者は役割分担に応じて対応する。

参考2 組織委員会及びその他の経費（V4とV5との比較、ハード・ソフト別）

<>書の増減はV4との比較

	V4			V5		
	組織委員会	その他	支出計	組織委員会	その他	支出計
ハード（会場整備）	1,170 億円	5,970 億円	<b>7,140 億円</b>	1,530 億円 <+360>	6,540 億円 <+570>	<b>8,070 億円 &lt;+930&gt;</b>
恒久施設	—	3,460 億円	3,460 億円	— <—>	3,460 億円 <—>	3,460 億円 <—>
仮設等	1,010 億円	2,150 億円	3,160 億円	1,280 億円 <+270>	2,610 億円 <+460>	3,890 億円 <+730>
エネルギー	160 億円	360 億円	520 億円	250 億円 <+90>	470 億円 <+110>	720 億円 <+200>
ソフト（大会運営）	4,760 億円	1,400 億円	<b>6,160 億円</b>	5,680 億円 <+920>	1,630 億円 <+230>	<b>7,310 億円 &lt;+1,150&gt;</b>
輸送	410 億円	310 億円	720 億円	480 億円 <+70>	370 億円 <+60>	850 億円 <+130>
セキュリティ	330 億円	550 億円	880 億円	340 億円 <+10>	580 億円 <+30>	920 億円 <+40>
テクノロジー	700 億円	390 億円	1,090 億円	780 億円 <+80>	430 億円 <+40>	1,210 億円 <+120>
オペレーション	1,240 億円	150 億円	1,390 億円	1,680 億円 <+440>	250 億円 <+100>	1,930 億円 <+540>
管理・広報	650 億円	0 億円	650 億円	840 億円 <+190>	0 億円 <—>	840 億円 <+190>
マーケティング	1,250 億円	0 億円	1,250 億円	1,360 億円 <+110>	0 億円 <—>	1,360 億円 <+110>
その他	180 億円	0 億円	180 億円	200 億円 <+20>	0 億円 <—>	200 億円 <+20>
新型コロナウイルス感染症対策関連	—	—	—	— <—>	960 億円 <+960>	<b>960 億円 &lt;+960&gt;</b>
調整費（組織委員会）／緊急対応費（東京都）	100 億円	100 億円	<b>200 億円</b>	— <▲100>	100 億円 <—>	<b>100 億円 &lt;▲100&gt;</b>
支出計	6,030 億円	7,470 億円	<b>13,500 億円</b>	7,210 億円 <+1,180>	9,230 億円 <+1,760>	<b>16,440 億円 &lt;+2,940&gt;</b>
予備費	270 億円	—	<b>270 億円</b>	— <▲270>	— <—>	— <▲270>
合計	6,300 億円	7,470 億円	<b>13,770 億円</b>	7,210 億円 <+910>	9,230 億円 <+1,760>	<b>16,440 億円 &lt;+2,670&gt;</b>

(注) 予期せず発生し得る事態等に対処する必要があるが生じた場合、関係者は役割分担に応じて対応する

### 参考3 組織委員会予算（V5）

#### 収 入

項 目	金 額
IOC負担金	850 億円
TOPスポンサー	560 億円
国内スポンサー	3,500 億円
ライセンスング	140 億円
チケット売上	900 億円
その他	350 億円
増収見込	760 億円
収支調整額（注）	150 億円
<b>計</b>	<b>7,210 億円</b>

（注）組織委員会の支出のうち、同委員会の経費削減努力や増収努力によっても賅いきれない費用について、東京都が負担するもの。

#### 支 出

項 目	金 額
ハード（会場整備）	1,530 億円
仮設等	1,280 億円
エネルギー	250 億円
ソフト（大会運営）	5,680 億円
輸送	480 億円
セキュリティ	340 億円
テクノロジー	780 億円
オペレーション	1,680 億円
管理・広報	840 億円
マーケティング	1,360 億円
その他	200 億円
<b>計</b>	<b>7,210 億円</b>



## 参考4 組織委員会予算（V4とV5との比較）

<>書の増減はV4との比較

### 収 入

項 目	V4	V5	
IOC負担金	850 億円	850 億円	<->
TOPスポンサー	560 億円	560 億円	<->
国内スポンサー	3,480 億円	3,500 億円	<+20>
ライセンスング	140 億円	140 億円	<->
チケット売上	900 億円	900 億円	<->
その他	370 億円	350 億円	<▲20>
増収見込	—	760 億円	<+760>
収支調整額 (注)	—	150 億円	<+150>
<b>収 入 計</b>	<b>6,300 億円</b>	<b>7,210 億円</b>	<b>&lt;+910&gt;</b>

(注)組織委員会の支出のうち、同委員会の経費削減努力や増収努力によっても賄いきれない費用について、東京都が負担するもの。

### 支 出

項 目	V4	V5	
ハード（会場整備）	1,170 億円	1,530 億円	<+360>
仮設等	1,010 億円	1,280 億円	<+270>
エネルギー	160 億円	250 億円	<+90>
ソフト（大会運営）	4,760 億円	5,680 億円	<+920>
輸送	410 億円	480 億円	<+70>
セキュリティ	330 億円	340 億円	<+10>
テクノロジー	700 億円	780 億円	<+80>
オペレーション	1,240 億円	1,680 億円	<+440>
管理・広報	650 億円	840 億円	<+190>
マーケティング	1,250 億円	1,360 億円	<+110>
その他	180 億円	200 億円	<+20>
調 整 費	100 億円	—	<▲100>
<b>支 出 計</b>	<b>6,030 億円</b>	<b>7,210 億円</b>	<b>&lt;+1,180&gt;</b>
予 備 費	270 億円	—	<▲270>
<b>合 計</b>	<b>6,300 億円</b>	<b>7,210 億円</b>	<b>&lt;+910&gt;</b>

## 参考5 経費増減（組織委員会負担分、V4とV5との比較）

（単位：億円）

区分	V4	V5	増減	主な内容
<b>ハード（会場整備）</b>	1,170	1,530	+360	
恒久施設	—	—	—	—
仮設等	1,010	1,280	+270	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技会場等における仮設オーバーレイのリース・レンタル、一時撤去・再設置</li> <li>・会場使用料等</li> <li>・大会ルックの見直し</li> </ul>
エネルギー	160	250	+90	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技会場等における仮設電源設備のレンタル、一時撤去・再設置</li> <li>・競技会場等の光熱費</li> </ul>
<b>ソフト（大会運営）</b>	4,760	5,680	+920	
輸送	410	480	+70	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会関係者輸送用フリート（乗用車）の維持管理</li> <li>・輸送支援スタッフ等</li> </ul>
セキュリティ	330	340	+10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警備資機材の保管</li> </ul>
テクノロジー	700	780	+80	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会情報の配信、大会運営に関する各種システムの保守</li> <li>・通信インフラの維持管理</li> </ul>
オペレーション	1,240	1,680	+440	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場・競技運営</li> <li>・競技用備品の保管</li> <li>・選手村の維持管理</li> <li>・開閉会式</li> <li>・聖火リレーの簡素化</li> </ul>
管理・広報	650	840	+190	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費</li> <li>・賃料</li> </ul>
マーケティング	1,250	1,360	+110	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収入運動経費</li> <li>・チケット払い戻しに係るシステム開発等</li> </ul>
その他	180	200	+20	
<b>調整費</b>	100	—	▲ 100	
<b>支出計</b>	6,030	7,210	+1,180	
<b>予備費</b>	270	—	▲ 270	
<b>合計</b>	6,300	7,210	+910	

## 参考6 新型コロナウイルス感染症対策関連

### 1. アスリート等を対象とした検査体制等の整備 160億円

- ① 検体採取センターの整備
- ② 検体分析委託等
- ③ 選手等に接触する可能性のある大会関係者の  
PCR検査業務委託
- ④ 検査管理システム等の構築等
- ⑤ 感染症対策センター(仮称)の設置
- ⑥ 選手村総合診療所発熱外来の整備等

### 2. その他の感染防止のための対応 800億円

- ① 競技運営・選手村におけるコロナ対策
- ② 飲食提供場所におけるコロナ対策
- ③ 選手等用バスにおけるコロナ対策等
- ④ リモート取材のための環境整備
- ⑤ バス・フリートの誘導業務委託・消毒業務委託等
- ⑥ 会場マネジメント業務委託等

計 960億円



## PRESS RELEASE

TOKYO 2020

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

<Tokyo 2020.NEWS-2020-141>

2020年10月7日

### 東京 2020 大会の簡素化について

#### 東京 2020 組織委員会が簡素化の削減効果について IOC 理事会に報告

東京 2020 組織委員会は、本日 IOC 理事会に対して、大会の簡素化を中心に準備状況の報告を行いましたのでお知らせします。

大会の簡素化については、世の中の状況を踏まえ、都民・国民の共感が得られる東京大会を目指し、簡素化の方針決定後、約 3 カ月にわたって多くの大会関係者の皆さまと、議論を進めてきました。コロナ後の新たな日常に適したオリンピック・パラリンピックの在り方を示すべく、関係者との調整を経て、9月24-25日に開かれたIOC調整委員会において、50以上にわたる簡素化項目・内容の合意に至ったところです。

この合意を踏まえ、組織委では、この簡素化による削減額について速やかに試算を進めてまいりました。見直しの主な内容としては、以下の項目が挙げられます。

- 会場における仮設オーバーレイの仕様の見直し及びサービスレベルの引下げ等
- 競技会場/選手村等のルックの削減
- 聖火リレーの実施方法の簡素化
- 大会関係者の人数の調整
- 組織委員会スタッフの要員計画の最適化

IOC、IPC、オリンピック・パラリンピックファミリーの皆さまにも、様々な形で、簡素化に協力いただきました。

精査を進めた結果、現時点における見直しによる削減効果の暫定的な概算値としては、簡素化を全く行わなかった場合に比べ、おおよそ 300 億円の削減を達成できました。

#### The Worldwide Olympic Partners



#### Tokyo 2020 Olympic Gold Partners



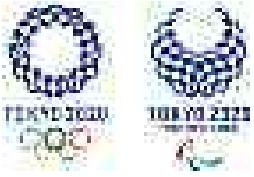
簡素化の真の目的は、人々が新しい日常の中で生活する中で、今後の世界規模のイベントにおけるロールモデルを示すことです。将来にわたって、東京大会を人類のレガシーとすることができるよう、引き続き努めます。

今後、今回の簡素化の成果も踏まえながら、延期に伴う追加費用について引き続き精査を行ってまいります。また、コロナ対策についても現在進めている検討を踏まえ、今後、費用の見積もりを行います。費用の分担を含め、詳細を詰め、年内には V5 予算をお示しする予定です。

簡素化については、来年の大会まで不断に努力を継続するものであり、引き続き大会関係者の皆さまには、ご協力をお願いしてまいります。

また、IOC 理事会では、大会延期に伴う開催都市契約の改定についても報告をし、了解を得ました。これに伴い、IOC に対して、日本側の契約当事者 3 者の署名を提出したところです。このプロセスにおける IOC のご協力、ご支援に対して感謝いたします。

来年の大会まで、約 9 カ月となりました。引き続き、安心して安全な大会開催に向けて、関係団体と緊密に連携し、準備を進めてまいります。



# 簡素化による財政的効果

## 簡素化の目的

延期に伴う追加コストの抑制にとどまらず、人々が新しい日常の中で生活する中で、将来のオリンピックを含む、今後の世界規模のイベントにおけるロールモデルを示すことであり、将来にわたり東京大会を人類のレガシーとすること。

## 簡素化による主な見直し内容

- ・ 会場における仮設オーバーレイの仕様の見直し及びサービスレベルの引き下げ等
- ・ 競技会場/選手村等のルックの削減
- ・ 聖火リレーの実施方法の簡素化
- ・ 大会関係者の人数の調整
- ・ 組織委員会スタッフの要員計画の最適化

**概算値（簡素化による削減・抑制額） 約300億円（約280百万米ドル） 1ドル=107円**

（注）暫定的なものであり、今後、変動するものである。

引き続き簡素化に取り組んで年末公表予定のV5予算に反映するとともに、その後も大会直前まで簡素化の取組みを継続して予算に反映していく。

## 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の 追加経費の負担について

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「大会」という。）の予算については、昨年 12 月、組織委員会予算 V 4 が決定されており、組織委員会、東京都、国の経費分担については、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の役割（経費）分担に関する基本的な方向について」（平成 29 年 5 月 31 日関係自治体等連絡協議会決定。以下「大枠の合意」という。）に基づき、同予算の中に計上されているところである。

本年に入り、新型コロナウイルス感染症の影響により大会は史上初めて延期されることとなった。その後、大会の簡素化に向け、あらゆる場面で最適化・合理化を進めるとともに、延期に伴って必要となる様々な対応について、現在、精力的に検討・作業が進められている。大会を成功させるため、引き続き、大会の準備に全力を挙げるとともに、新型コロナウイルス感染症対策についても万全を期すこととし、去る 12 月 2 日に東京オリンピック・パラリンピック競技大会における新型コロナウイルス感染症対策調整会議（以下「コロナ対策調整会議」という。）において取りまとめられた中間整理を踏まえ、必要な対策を着実に実施していく。

その際、組織委員会、東京都、国が、それぞれの役割に基づいて責任を果たすこととし、必要となる追加経費の負担については、下記のとおりとする（具体的規模は別紙のとおり）。

今後、人類が新型コロナウイルス感染症に打ち勝った証として、世界のアスリートが万全のコンディションでプレーを行い、観客にとっても安心して安全な形で実施できるよう、組織委員会、東京都、国等の関係者が一丸となって取り組んでいくこととする。

### 記

1. 大会の追加経費のうち、新型コロナウイルス感染症対策関連の経費以外の経費については、組織委員会が、今後とも引き続き I O C をはじめとする関係機関の協力を得て、最小限のものとなるよう抑制・削減に取り組むとともに、大枠の合意に基づき、組織委員会、東京都及び国が、

それぞれ費用を負担する。

組織委員会の負担のうち、同委員会の増収努力によっても賄いきれない費用については、東京都が負担する。

2. 大会の追加経費のうち、コロナ対策調整会議における中間整理（令和2年12月2日）を踏まえた新型コロナウイルス感染症対策関連の経費については、東京都及び国が、それぞれ二分の一相当額を負担することを基本とする。ただし、アスリート等に係る検査体制の整備や組織委員会が設置する感染症対策センターなどに要する経費については、国が実施する水際対策と同様、大会の感染症対策の中心的機能を果たすことから、国が全額を負担する。

3. このほか、国は、大会の円滑な準備及び運営の実現に向けて、基本方針（平成27年11月閣議決定）等に基づき、関連施策を実施する。

令和2年12月4日

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長 森 喜朗

東京都知事 小池百合子

東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣 橋本 聖子



(別紙)

### 追加経費の負担額

区 分	組織委員会	東京都	国
(1)大会の追加経費のうち(2)の経費を除くもの	760 億円程度 (※)	800 億円程度	150 億円程度
(2)大会の追加経費のうち新型コロナウイルス感染症対策関連の経費	—	400 億円程度	560 億円程度

※組織委員会V4 予算に計上している予備費 270 億円を合わせると、組織委員会の負担額の総額は 1,030 億円程度